

発行元
東京新聞
南千住東口専売所
TEL5850-3699
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090-2657-0300

すまいるたうん



第157号
平成22年

10月13日

はい！東京新聞です
内幸町 本社からの発信
私事ばかりですが



編集委員（元したまち支局長）

植木幹雄

書き出しからいきなりですが、九月一日付で、編集委員のまま「ゆめぼけ」のセクションに移りました。責任者といえは聞こえはいいのですが、内容的にはデスクのようなものです。編集委員室のコラムや、企画はこれまで通りです。

木曜朝刊一ページ、金曜朝刊二ページ、土曜夕刊一ページの計四ページの原稿すべてに目を通し、自分でもグルメ取り寄せ便を含め毎週四本の原稿も書いています。グルメは、記事の最後に名前の頭文字を入れるのですが、植木の（U）も、幹雄の（M）もすでに使われており、植木が東北弁でなまったような（W）を使っています。

ここに届く情報は半端じゃありません。毎日数センチ分のファクス。油断すると、机の上が埋まるほどの郵便物が届きます。すべて私が目を通しますが、「この四ページは読まれているんだな」と実感しています。例えば、グルメ便は東京では買えない全国の名産品が対象で、東京新聞の発行エリア外のお店の品も扱いますが「注文が殺到して在庫が尽きた。女性雑誌にも出たけど、こんなこと無かった。東京新聞はすごいね」。しばしばこんなお礼の手紙が届きます。これは多分に外交辞令含

みと理解していますが、うれしい限りです。さて新職場の話はこのくらいにして、しばらく硬い話が多かったので今回は趣味の話でもしましょうか。

みなさんはどんな趣味をお持ちですか。「将棋」？。いいですね頭を使うのでいけないといわれてますね。「カラオケ」。これも大きな声を出すので、ストレス発散にはうってつけ。

「散歩」。これは最高ですね。体にいいだけでなく、普段気づかないことを目にしたり家族、ご夫婦仲良くおしゃべりしながら、家族の和もはかれます。

さて小生。人に聞かれると「いやあ、不調法で」と、取りあえず頭をかきまします。

本当は多趣味なのですが、会社員の趣味？に多い酒はまるつきしだし、ギャンブルやゴルフ、悪い遊び？にも全く興味なし。

多趣味というのは、中学生時代からの電気製品の分解組み立てから始まって読書、映画、音楽、浪曲、落語、ランプの収集、燻製、キャンプ、洞窟探検（大学サークルもこれ）、写真、米国の古いがらくた（ブリキのポスターなど）集め、日曜大工、パソコンいじり、ときりがありません。

なかでも、最近こっているのが古書集めと家庭菜園・果樹園。

古書は、編集委員になってから「あの人がいるた街」を担当するようになり、毎回、登場人物に関する書物を読みあさっています。所詮は筆者が原典をまとめたもので、新聞記事では筆者から許可を取っても引用にしかならず、書いていて欲求不満がつります。今は小遣いを貯め込んで明治、大正、昭和初期の歴史証言集や日記、記録を少しずつ買っています。万を超

える本が多く、古書店で思案投げ首です。

もう一つの家庭菜園・果樹園はマンション時代からベランダでほそぼそとやっていたが、七年前に庭付きの家に移ってから本格的に始めました。いくら茨城・取手市の土地が安いといっても、宅地ですの限度があり、ほとんどは鉢植え、プランターです。このため庭にはジャガイモ、サツマイモ、ゴーヤ、ズッキーニ、トウモロコシ、サツマイモ、スイカ、メロン、カボチャなどのプランターが並び、隙間にはリンゴ五種類、レモン二種類、モモ、ナシ、サクランボ、ミカン、アーモンド、カリン、ユズ、ブルーベリー、パイナップルと二十近い鉢が並び、この夏はちよつとしたジャングル気分。

この趣味の利点は、想像ほどお金が掛からないうし、収穫する楽しみがあること。果樹の苗木なら、大きなホームセンターに行けば五百円くらいからあり鉢、土、肥料を合わせても、一鉢千数百円もあれば十分。安い苗木は実がなるまで数年かかる場合もありますが、野菜や木は天候や手間暇のかけ方に大きく左右されるなど、いろいろな意味で正直。成長を見ていると、気が休まります。

初心者にお勧めは、リンゴのアルプス乙女。食用では日本で一番小さなリンゴです。買って一年もすれば実をつけ、手間暇掛からず、病気にも強いし、木も小さいのでベランダで楽しめるのも利点。大きくなったら、てっぺんと枝を詰めればいいだけ。今年是不作で、甘みも少なかったのですが、職場に持ってきたら、評判は上々。

皆さんもいかがですか。